

参議院 選挙区選出 選挙公報

北海道選挙管理委員会

誰もが「幸福」と言える未来をつくります!

——大林まことは、この国の政治に「政策3本柱」を築きます。——

I

景気・雇用

雇用と収入が増えます

GDP(国内総生産) 世界一を目指します。

どうやるの?

- ① 新たな基幹産業を創出する本物の景気回復策
- ② 大胆な減税と規制緩和による高度成長策

II

外交・安保

日本の安全を守ります

日米同盟を強化し 核の脅威から国民を守ります。

どうやるの?

- ① 「日米同盟」「民主主義国家との関係」を強化します
- ② 憲法9条を改正し正式に軍隊の保持を認めます

III

教育復活

子どもの学力が向上します

公立学校を復活させ世界 最高水準の学力を目指します。

どうやるの?

- ① 教員間に「競争の原理」を働かせ、教員の能力とやる気を伸ばします
- ② 「民間の常識」を入れ、いじめを解決します

比例代表は

「幸福」とお書きください

HAPPINESS REALIZATION PARTY

【おおばやし・まこと プロフィール】 1972年北海道滝川市生まれ、37才。1991年滝川高等学校卒。1995年北海道教育大学札幌校卒業後、芦別市立啓成中学校教諭、同市立中学校教諭、赤平市立立平中学校教諭。2008年退職し、(宗)幸福の科学に入局。精舎、支部勤務を経て2009年5月幸福実現党に入党。家族は妻と一男一女。

大林まこと ホームページ ▶ <http://www.obayashi-makoto.net/>

幸福実現党

<http://www.hr-party.jp>

幸福実現党
おおばやし
大林まこと
37歳

私達が推薦します。

みんなの党 代表

渡辺よしみ

みんなの党 幹事長

江田けんじ

中川けんいち自己紹介

- 昭和42年 札幌市生まれ
- 昭和60年 札幌南高校卒業
- 平成元年 東北大学経済学部経済学科卒業。北海道拓殖銀行入行。東京や横浜にて法人融資などの業務に携わる。
- 平成6年 本格的に北海道の産業政策に関わるため、北海道庁へ転職。ベンチャー企業支援、国際ビジネス支援などを担当する。
- 平成15年～平成18年 北海道シンガポール事務所に勤務し、アジアにおける北海道観光や道産品の市場拡大、道内企業の海外支援などに従事。青森・岩手・秋田の駐在員も兼任。
- 平成22年 5月北海道庁退職。



みんなの党
www.your-nakagawa.jp

強北み 海んなで す道なで

北海道の成長なくして日本の未来なし。

- ◎地方がよくなれば日本はよくなります。
- ◎道民が主役の景気回復と政治をつくり出す。
- ◎駐在したシンガポールでの経験を活かし、海外の成功事例も積極的に参考にして北海道力を回復させます。

バラマキでは日本は滅びます。子供たちにツケを回すわけにはいきません。

- ◎目先の問題に应急手当を続けても、経済が強くないと生活は楽になりません。
- ◎バラマキの財源は国家の借金です。子供たちにツケを回すわけにはいきません。
- ◎日本を第2のギリシャにしたいわけじゃない。財政破綻で一番苦しむのは国民、道民です。
- ◎無駄を省いた小さな政府を目指します。
- ◎日本再生の処方箋を提示するみんなの党。経済人、投資家からの支持率No.1。

観光立国日本をリードします。また農業の競争力を高め、輸出産業にします。

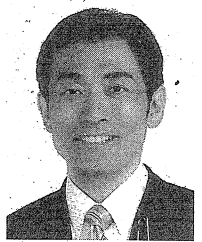
- ◎人口30億人のアジアのリゾート北海道。行きたいところNo.1の北海道。
- ◎観光、医療、農業と食で北海道の魅力を高めます。
- ◎国際競争力のある、強い農業を作ります。

地域主権で北海道にあった成長戦略を進めます。

- ◎地域の地域による新しい国の形をつくり出す。
- ◎中央に依存しない独自の景気回復を目指します。
- ◎中央の支配から脱却、法人税引き下げ、企業誘致、富裕層の誘致を行います。

人間力で勝負する。

- ◎国際社会で通用する人材を育成します。
- ◎小中高生の科学教育、コミュニケーション能力の向上を図ります。
- ◎女性、高齢者もみんなが働ける環境を作ります。
- ◎頑張った人が報われる社会をつくり出します。一方でセーフティネットも整備します。



みんなの党公認
中川けんいち



民主党公認
徳永エリ

いつでも生活者の声を
しっかりと聞くことから

私は、テレビリポーターとしておよそ30年間、

生活の現場で多くの人の暮らしと心に接してまいりました。

医療や介護、子育て、食の安全、安心、

家庭や職場、社会のいたるところに

さまざまな問題がありました。

これまではメディアと視聴者の方々のとの

パイプ役として働いてまいりましたが、

これからは、みなさんの声がかさねる

社会の実現へとつながっていきたく思います。

大好きな北海道と、

大好きな北海道の人たちのために、

そして子どもたちの希望ある未来のために、

全力を尽くします。

じっくり聞く。
はっきり言う。
そして、実行。

徳永エリのポリシー

農業、漁業、林業を守るために

●農林水産物の生産、加工、流通、販売の一体化の促進 ●戸別所得補償の畑作畜産への拡大 ●漁業所得補償制度の実現 ●景観保護や資源管理に基づいた伐採造林、育林 ●一次産業を軸とした北海道らしい観光資源の創造 ●環境に注目した産業振興

子どもを安心して生み育てるために

●保育所の待機児童の解消 ●子ども手当の継続 ●高校授業料無償化の継続 ●大学生や専門学校生のための奨学金制度をさらに充実 ●出産の経済的負担の軽減 ●子育てサロンの拡充 (先輩お母さんから後輩へ) 世代間交流で高齢者の力を活かす

地域で安心して暮らすために

●患者の負担が重い疾病への支援拡充と家族のケア ●介護を支える人材の確保、職員の待遇改善 ●医師不足解消に向け、地域大学の医学部新増設 ●地域の病院経営、勤務医の雇用条件改善のための診療報酬改定 ●年金記録問題の早期解決と年金の一元化

すべての働く人のために

●緊急雇用対策の継続 月額最大10万円を支給する職業訓練支援制度、子育て・介護・福祉・教育・文化などで雇用を創出する事業 ●雇用のミスマッチの解消 ●一次産業への就労支援拡大 ●失業者への心の支援の拡充 ●雇用保険の特例一時金の削減中止

徳永エリ・ホームページ
<http://www.tokunaga-eri.jp/>

ウェブ漫画「ちゃんと、まっすぐ」では徳永エリの生い立ちをご紹介します。

【プロフィール】 1962年1月1日生まれ。出身・現住所ともに札幌市。家族は長男(18歳)と母親。札幌市立緑丘小学校、藤女子中学、藤女子高卒。法政大学法学部法律学科(通信教育課程)中退。日本テレビ「ルックルックこんにちは」、TBS「森本ワイドモーニングEye」、テレビ朝日「こんにちは2時」、UHB「のりゆきのトクDE北海道」でリポーターをつとめる。飲食店の経営・会社経営のほか、カウンセラーとしても活動。

安心の暮らしのために。

参議院 選挙区選出 選挙公報

北海道選挙管理委員会

強い北海道をつくる!

長谷川岳のフロフィール

昭和46年愛知県春日井市生まれ。平成2年北海道大学入学。
「企業経営論 NPO経営」を専攻。同6年北海道大学経済学部卒。
在学中の同3年、学生仲間5人でYOSAKOIソーラン祭り実行委員会を設立。翌年第1回祭りを開催。以後、毎年6月に開催し現在では観客200万人以上の北海道有数の観光資源に。
平成10年同祭り組織委員会専務理事に就任。
平成20年7月、自民党北海道第一選挙区支部長に就任。同21年8月、衆議院議員総選挙に出馬、12万4343票獲得するが惜敗。
●身長:175cm ●体重:70kg ●星座:血液型:水がめ座・O型
●趣味:水泳、登山、マラソン、読書 ●家族構成:妻・長女
●尊敬している人:白洲次郎
●好きな作家:堀野七生、司馬遼太郎
●好きな漫画:『江戸前鮎川 ぎららの仕事』『サンクチュアリ』『島耕作シリーズ』
●続けていること:毎朝8kmのジョギング(すでに地球を半周している)
●好きな言葉:不可能を可能に!
●苦手なこと:多くの人の前で話すこと
著書には、「YOSAKOIソーラン祭り〜街づくりNPOの経営学」(岩波アクティブ新書)を共著で出版

www.hasegawagaku.jp

比例代表も自民党の候補者へ

私の挑戦

人口減少による労働力不足、税収不足が顕在化していく2010年〜2030年に、さまざまな問題が起きます。政治の役割はこの20年間に、どのくらい北海道を変えられるかです。わが国の中での地位を飛躍させるためにも、北海道の政治のすべてを「食料」「水資源」「エネルギー」に集約しなければなりません。

食料

北海道には広大な土地、豊富な水資源があり、優秀な農林水産業従事者の方々に支えられ、食料自給率は200%を誇っています。食料基地としての位置付けを明確にして、関連産業を囲い込み、産業構築をすれば、雇用は間違いなく確保できます。

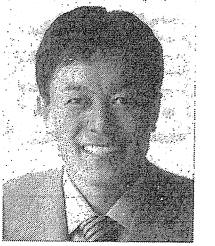
水資源

北海道は一人当たり、本州の10倍、1万立方メートルという膨大な水を有しています。この水資源を強みにし、水不足が懸念されるアジアに供給します。また、上下水道を民営化して水関連事業の基盤をつくることなどで、水を中心とした産業基盤が可能になります。

エネルギー

40年後までには、化石燃料に頼らないエネルギーを開拓し、生活スタイルを変えなければなりません。北海道には風力、地熱、小型水力発電、太陽光などの自然再生エネルギーがあります。同時に、安全な原子力活用も議論していく必要があります。

私に課せられた最大の使命は、地域の皆さんの意見と私の行動力を一体化して、「強い北海道をつくる」ことです。次世代が堂々と子どもを産み育て、郷土に誇りを持って暮らすことができる北海道にするために、夢・知恵・元氣出し、全力で、頑張りますので、どうかあなたの一票を長谷川岳に投票してください。



自由民主党公認
長谷川 岳 39歳

地域の暮らしと経済に活力を!

新しい日本の政治を切り開くため、全力でがんばります。

地域の雇用と産業を守ります。

医療や福祉、食品加工や観光などの分野に雇用拡大の可能性が広がります。地域の産業を支える中小企業や新規事業を応援し、暮らしと経済に活力を取り戻します。

人を育て、働く人を大切にします。

職業能力や就労支援により、だれもが生きがいをもつ働ける社会をめざします。長期安定雇用を基本とし、仕事と家庭生活の両立など、安心して働ける労働条件を確保します。

弱者に優しい福祉社会を築きます。

人と人との助け合いが社会の基本です。年金制度の建て直しと地域医療の確立、福祉・介護サービスの充実により、安心して暮らせる社会、弱者に思いやりのある社会を築きます。

安心の暮らし、食と環境を守ります。

生産者と消費者が手をむすび、北海道の基幹産業である農林水産業の持続的な発展をめざし、食と環境を守ることで、国民・道民の安心・安全な暮らしを支えます。

子どもたちの夢と希望を育みます。

格差と貧困は、子どもの育ちにも暗い影を落とします。保育施設の充実など子育てを応援し、将来を担う若い世代が差別なく教育を受けられる機会を保障します。

無駄づかいの根絶

限られた人材や予算を有効に活用するため、政府関連法人の事業内容や予算編成の過程を明らかにする「事業仕分け」の取り組みを続けます。

行政の密着性の打破

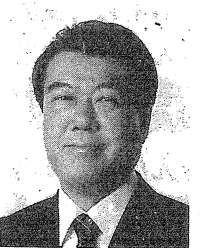
前内閣の手で米穀密約の存在が明らかにされました。情報公開をさらに進め、行政の透明性を高めます。

地域主権の推進

中央集権的な行政では、多様な地域に合った政策は実現でき

民主党は「戦後行政の大掃除」をすすめます。

内閣総理大臣 菅 直人
財務副大臣 菅 直人
私たちが推薦する 峰崎直樹



民主党公認
藤川 まさし 53歳

ふるさと北海道にきらめく人の力と地域の力。その力を活かし、引き出すことが、私のめざす「人を大切にする政治」の原点です。



- 健康法はウォーキング。
- 好物はホッケ・サンマなどの焼き魚、そばなど麺類。
- 座右の銘は「誠心誠意」。
- 長所は真面目なこと。短所は真面目すぎること。

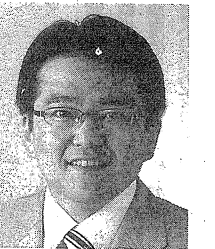
- 1980年 慶應義塾大学法学部卒業。
- 1980〜2002年 札幌市役所に勤務。
- 2003〜2010年 札幌市議会議員。
- 現在 民主党北海道地域主権推進委員長。
- 実母・妻・子ども3人と札幌で暮らす。
- 趣味の写真撮影は高校時代から。

- 1956年7月15日 苫小牧市生まれ。
- 1969年 札幌市立二条小学校卒業。
- 1972年 札幌市立啓明中学校卒業。
- 1975年 北海道札幌西高等学校卒業。

藤川まさしプロフィール

消費税増税反対、普天間基地撤去、安心な医療・介護

道民の願い 実現へ全力をあげます



日本共産党
はたやま 和 38歳

国民の立場でアメリカと財界にはつきりモノを言う政治をつくりましょう。新内閣ができましたが、問われているのは政治の中身です。普天間基地では名護市辺野古に新基地を押しつける「日米合意」の推進。暮らしの問題では、消費税の10%増税がだされたい。国民の立場に立ち、アメリカや財界にモノが言えない政治だからです。参議院選挙では、まさにこうした政治の転換こそが求められます。

日本共産党が伸びてこそ希望のもてる新しい政治へ道が開かれます。志位委員長は、米軍を訪問して国務省と会談、普天間基地の無条件撤去を米側に迫りました。はたやま候補は、矢張り米海兵隊の移転訓練に対して中止を訴えています。

「派遣切り」の際にもトヨタやいすゞなどに理を尽くして雇用を守る社会的責任を求めました。郵政の非正規社員10万人の正社員化に道を開きました。

正社員があたり前の社会に

・中小企業への支援策と一体に、最低賃金を時給1000円以上に

・季節労働者の一時金を、50日に復活。職業訓練センターの存続

後期高齢者医療制度はただちに廃止を

・国保料を一人1万円引き下げる

・障害者自立支援法による「応益負担」を福祉、医療ともに全面撤廃する

価格保障 所得補償の充実を

・コメ一俵1.5万円以上の保障で農家の営業を守ります。乳価の引き上げ

・日米FTA、日豪EPA交渉ストップ

・道産材の需要拡大、森林の整備と林業就業者の確保・育成

魚種安定制度の創設、漁業資源の保全

中小企業予算を1兆円に増額

・保育所・特養の建設、学校の耐震化、道路などの維持補修。住居リフォーム助成など生活密着型の公共事業の推進

子どもの医療費を無料に

・保育所・児童保育所を増設し、待機児童ゼロに。保育料の引き下げ、私立高校も無償に

奨学金の無利子化、給付制奨学金の創設

消費税10%増税は許しません

民主も自民も消費税を10%に引き上げようとしています。4人家族で年16万円もの負担増に、暮らしと経済をこわす政治は許しません。



日本共産党と

お書きください個人名でも投票できます

- 1971年宮城県石巻市生まれ、38歳。●94年宮城教育大学卒。●95年苫小牧市明倫中学校教諭。
- 2000年北海道教育大学大学院修士課程修了。現在、党・道政策委員長。
- 趣味は将棋、野球。家族は妻、一女。

政治と私

政権の顔ぶれが変わっても、政治資金疑惑の真相は明らかになっていません。企業・団体献金も政党助成金も受け取らない日本共産党は、清潔な政治を実現します。まず、政党助成金(320億円)を廃止させましょう!